

ヤマハ スピーカーシステム VXS1ML (B/W), VXS3S (B,W) 簡易マニュアル

●最初にお読みください

- VXS1ML はローインピーダンス接続専用モデルです。ハイインピーダンス接続で使用するためには、サブウーファー VXS3S と組み合わせてお使いください。(裏面参照)
- VXS1ML はサブウーファーVXS3S 無しでもご使用いただけます。
BGM用途では、音質・音量の観点から【VXS1ML *2台 + VXS3S *1台】の組み合わせが最適です。
- VXS1ML、VXS3S の 販売単位は 1台 です。ペア販売ではありませんのでご注意ください。



●ラインナップ・設置方法

スピーカーシステム

VXS1MLB VXS1MLW

希望小売定価 10,000円(税抜) /台

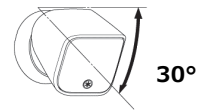


【主な特長】 ●世界最小・最軽量のBGMスピーカー ※当社

調べ

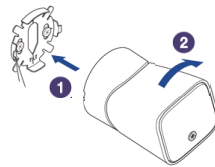
- ・新開発の1.5"ユニットを使用、重さ170gのコンパクトスピーカー
- ・水平170° x 垂直170° の広指向性により、包み込むような

・1軸・1方向に30°可動



【付属金具を用いた設置方法】

- ①付属の金具を天井・壁に取り付ける
- ②時計回りにひねって固定する



天井への設置例

壁への設置例



天井・壁埋め込み用金具

CMA1MB

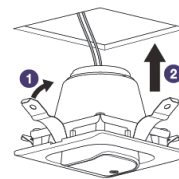
希望小売定価 3,000円(税抜) /台



【別売金具CMA1Mを用いた設置方法】

- ①付属の金具を天井・壁に取り付ける
- ②スピーカーにCMA1Mを取り付け天井へ押し上げる

※開口寸法：115mm x 115mm
※取付可能板厚：5mm - 35mm



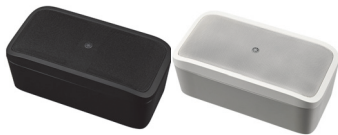
天井への設置例



スピーカーシステム (サブウーファー)

VXS3SB VXS3SW

希望小売定価 30,000円(税抜) /台

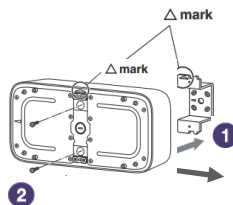


【主な特長】

- ・独自のSR-Bass(TM)方式を採用したコンパクトサブウーファー、Lo-Z接続、Hi-Z接続の両方に対応

【付属金具を用いた設置方法】

- ①付属の金具を天井・壁に取り付け、スピーカーを取り付ける
- ②スピーカーを右へスライドして仮固定し、正面からネジ2本で本留め



天井への設置例

壁への設置例



天井・壁埋め込み用金具

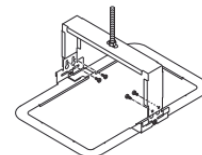
CMA3SB CMA3SW

希望小売定価 9,000円(税抜) /台



【別売金具CMA3Sを用いた設置方法】

スクエアリングとアンカーブラケットを利用した設置が可能
(詳細は取扱説明書をご参照ください)



ヤマハ スピーカーシステム VXS1ML (B/W), VXS3S (B,W) 簡易マニュアル

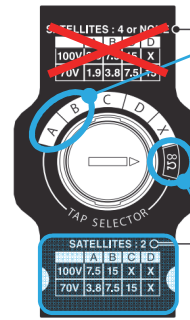
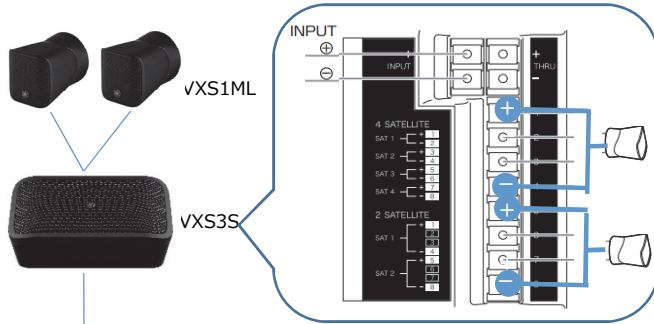
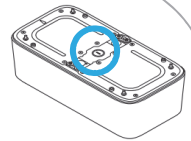
●スタンダードシステム (おすすめ)

基本のシステムです。

パワーアンプ MA2030aからサブウーファー-VXS3Sに接続し、VXS3Sのリアパネルのサテライト接続端子にVXS1ML2台を接続します。

【タップ設定について】

サブウーファーのグリルの内側のタップで設定します。



- ハイインピーダンス接続の場合
出力に合わせてタップをA, B, Cのいずれかに設定してください。接続するスピーカーの入力ワット数の合計がパワーアンプの出力を超えないように設定してください。
- ローインピーダンス接続の場合
タップを8Ωに設定してください。

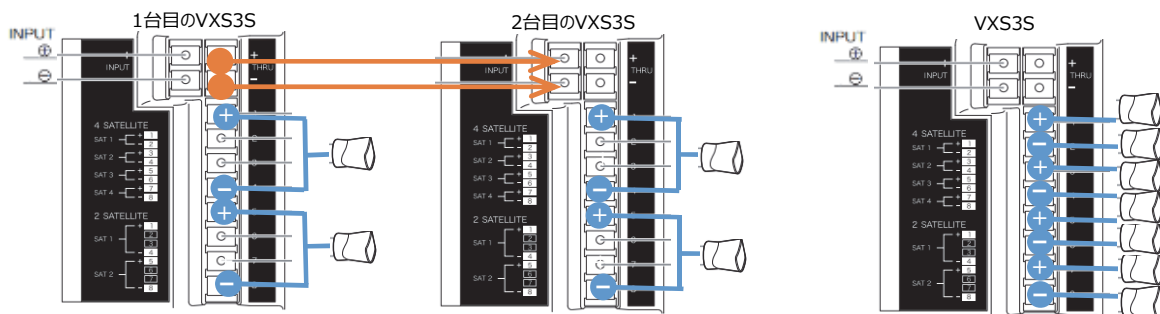
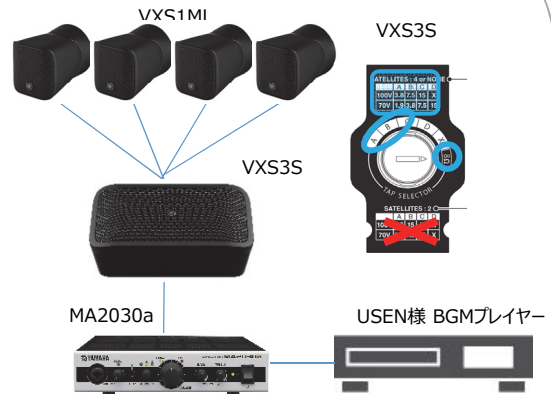
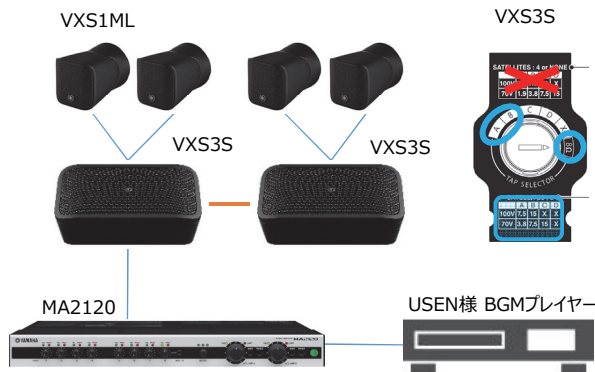
! 【ご注意ください】

サブウーファー VXS3S に対し、VXS1ML を **2台** 接続してください。
1台 の場合、VXS3Sに対してVXS1MLの音量が小さくアンバランスになります。

●規模の大きな店舗向けシステム

より床面積の広い店舗においては、サブウーファー-VXS3S 2台にVXS1ML をそれぞれ2台接続するシステムがお勧めです。図のように1台目のVXS3SのTHRU OUT端子に2台目のVXS3Sを接続します。パワーアンプはよりパワフルなPA2120がお勧めです。

左のシステムが予算に合わない場合、以下のバジェットプランが提案可能です。



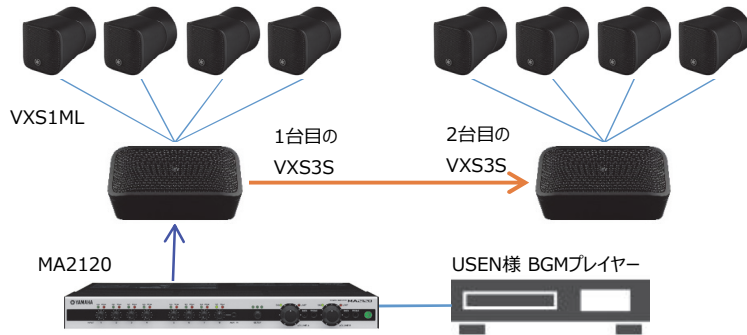
! 【ご注意ください】

サブウーファー VXS3S に対し、VXS1ML を **4台** 接続してください。
3台 の場合、1台目の音量に対して2台目と3台目の音量が半分となり、音量にばらつきが発生します。

ヤマハ スピーカーシステム VXS1ML (B/W), VXS3S (B,W) 簡易マニュアル

●さらに規模の大きなシステム

基本のシステムです。2台のサブウーファー-VXS3Sのサテライト接続端子に、VXS1MLをそれぞれ4台を接続します。

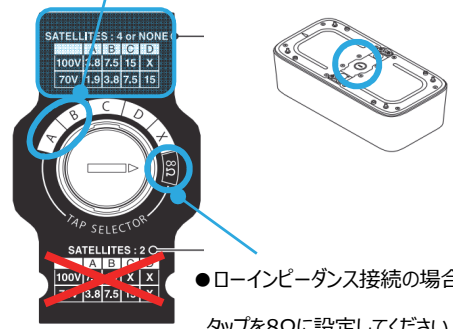
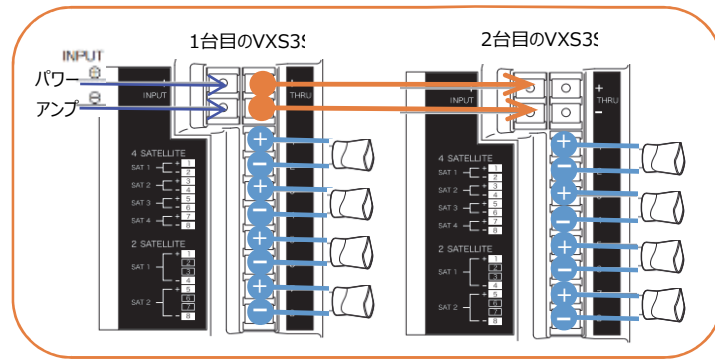


【タップ設定について】

サブウーファーのグリルの内側のタップで設定します。

●ハイインピーダンス接続の場合

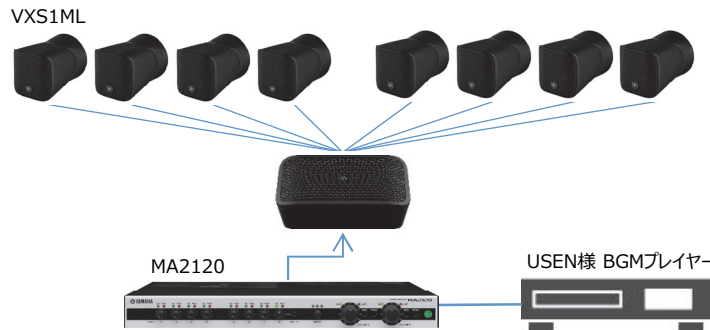
出力に合わせてタップをA, Bのいずれかに設定してください。接続するスピーカーの入力ワット数の合計がパワーアンプの出力を超えないように設定してください。



●ローインピーダンス接続の場合

タップを8Ωに設定してください。

応用的なシステムです。1台のサブウーファー-VXS3Sのサテライト接続端子に、VXS1ML 8台を平行接続します。

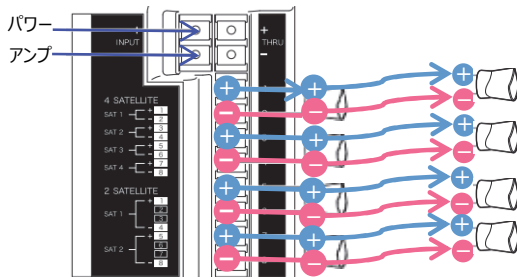


【ご注意ください】

- VXS1ML 1台当たりの音量は、サブウーファー2台の場合の1/4程度となります。
 - 必ずタップ下の「**SATELLITES: 2**」を参照し設定してください。
- 「SATTELLITES: 4」は該当しません。また「SATTELLITES: 4 or NONE」のC、Dを選択しても音が出ませんのでご注意ください。

スピーカーは平行（並行）接続します

1台目のプラスから2台目のプラス、1台目のマイナスから2台目のマイナス…の要領で接続します

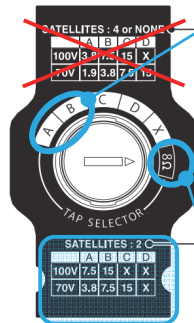


【タップ設定について】

サブウーファーのグリルの内側のタップで設定しま

●ハイインピーダンス接続の場合

「**SATELLITES: 2**」を参照し、出力に合わせてタップをA, Bのいずれかに設定してください。



●ローインピーダンス接続の場合

タップを8Ωに設定してください。